

第5回東京都北区資源循環推進審議会

平成25年4月24日
午後2時開会
第二委員会室

次 第

○ 開 会

○ 会長挨拶

議 題

- 1 戸別収集の地域拡大について
- 2 家庭ごみの有料化について
- 3 その他

(1) 次回 第6回審議会の開催日程について

- ・日時 平成25年6月19日(水)午後2時
- ・会場 北区議会第二委員会室

(2) 第7回審議会の開催日程について

- ・日時 平成25年8月28日(水)午後2時
- ・会場 北区議会第二委員会室(予定)

○ 閉 会

《配付資料》

- | | | |
|-----|--------|---------------|
| 資料1 | 検討テーマ5 | 戸別収集の地域拡大について |
| 資料2 | 検討テーマ6 | 家庭ごみの有料化について |

第5回北区資源循環推進審議会資料

検討テーマ 5 戸別収集の地域拡大

■エコプラン2018（北区一般廃棄物処理基本計画）での記述

5 個別計画

(3) 環境負荷の少ない適正なごみ処理・処分システムの構築

①収集・運搬計画

ア 効率的な収集運搬体制の構築

収集運搬体制は、可能な部分は委託化を促進し、収集運搬計画等の企画・立案、排出指導等へ人材の重点化を図るなど、効率的な清掃事業を目指す。

施設整備に関し、清掃関連施設の再編・統合を検討するなど将来の施設整備に向けた検討に着手する。不燃ごみ中継所については、将来的なあり方について検討する。なお、当面の課題として清掃工場の隣地を確保し、粗大ごみのストックヤードの整備を検討する。

収集運搬車には、低公害車の導入を促進するとともに収集ルートの見直しなど、低炭素社会にも配慮した取り組みを促進する。(P40)

■資料

北区のごみ減量・リサイクルに関するアンケート調査から
品川区の戸別収集実施前後のごみ量・収集費推移
家庭ごみの減量化に関する施策調査（23区）から

※申し訳ありませんが、北区の戸別収集等の現状については、資料作成中のため席上配布とさせていただきますのでご了解ください。

【戸別収集の拡大について】

問 13 今後、北区全域での戸別収集の取扱いについてどのように考えますか。(〇は1つ)

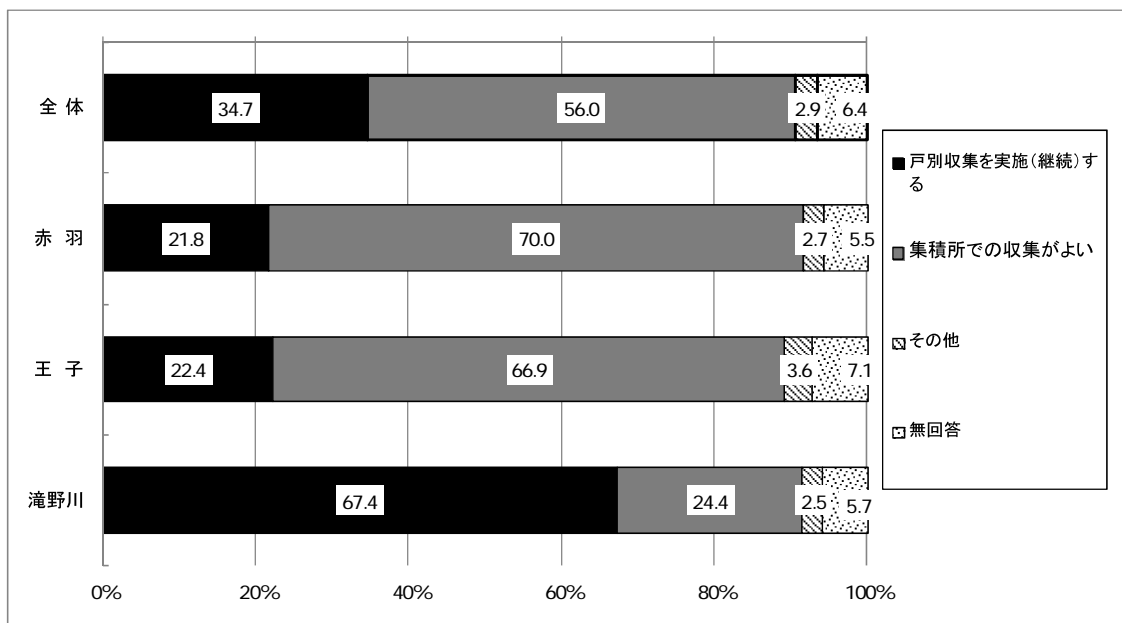
集積所で収集している「赤羽」「王子」では、現状の集積所での収集が望まれている。

戸別収集を実施している「滝野川」では、現状の戸別収集の継続が望まれている。

地区別で見ると、現在、戸別収集が実施されている「滝野川」では「戸別収集を実施（継続）する」（67.4%）が6割半ばを超え高くなっており、一方、現在、集積所で収集している「赤羽」「王子」では「集積所での回収がよい」が約7割を占め高くなっている。

図表 北区全域での戸別収集の取扱い

| | 調査数 | 続（戸別収集を実施（継続）する | 集積所での収集がよい | その他 | 無回答 |
|-----|-------|-----------------|-------------|-----------|------------|
| 全 体 | 1,604 | 557 34.7 | 898 56.0 | 47 2.9 | 102 6.4 |
| 赤 羽 | 620 | 135 21.8 | 434 70.0 | 17 2.7 | 34 5.5 |
| 王 子 | 522 | 117 22.4 | 349 66.9 | 19 3.6 | 37 7.1 |
| 滝野川 | 435 | 293 67.4 | 106 24.4 | 11 2.5 | 25 5.7 |



現在、戸別収集を実施している滝野川地区について、居住形態別でみると、「戸建て住宅」では「戸別収集を実施（継続）する」(83.3%)が最も高く、8割台半ば近くを占めている。

また、「集合住宅で専用のごみ置き場がある」では「戸別収集を実施（継続）する」(46.3%)と「集積所での収集がよい」(43.8%)はともに4割台となっている。

図 北区全域での戸別収集の取扱い（滝野川地区：居住形態別）

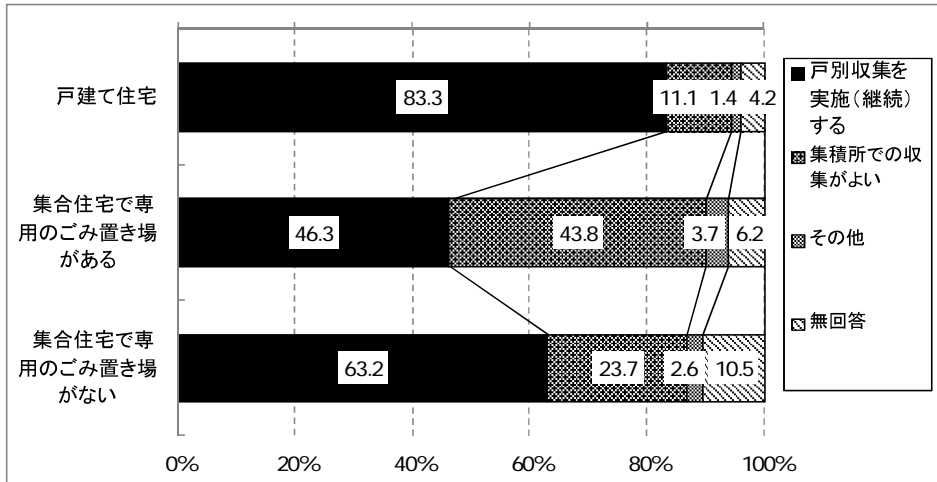


図 北区全域での戸別収集の取扱い（赤羽地区：居住形態別）

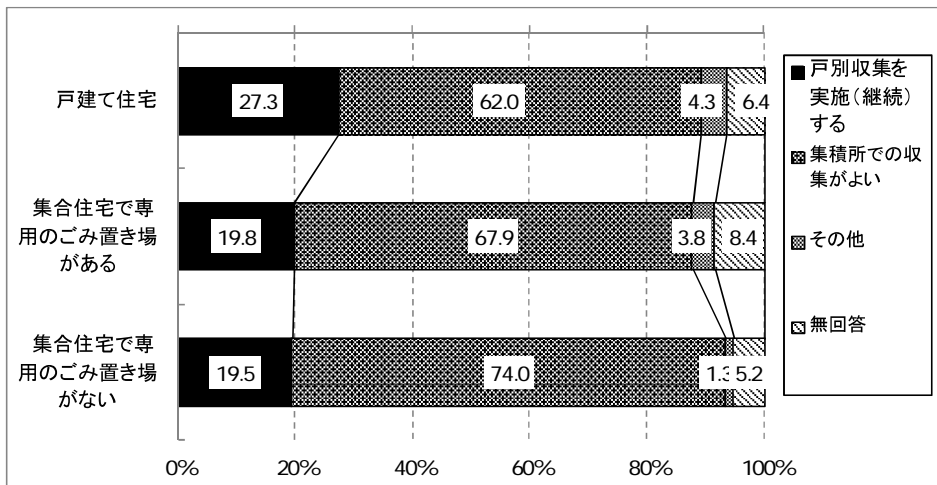
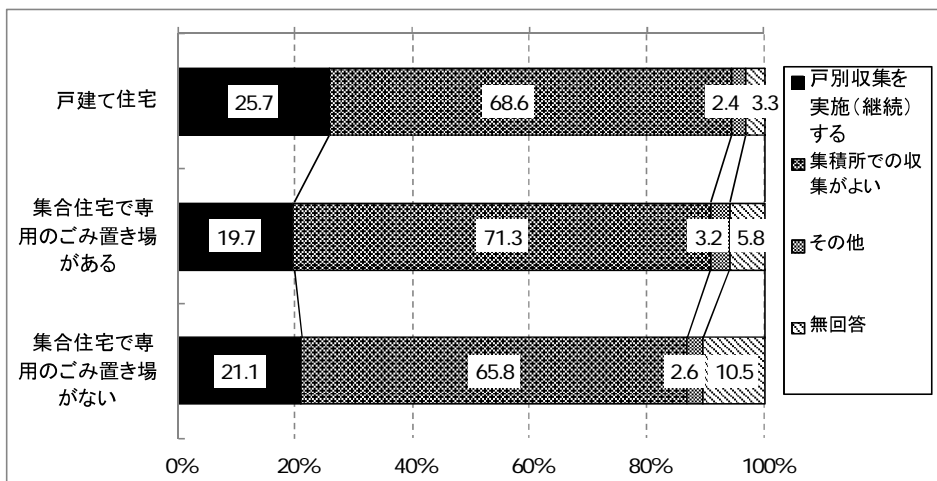


図 北区全域での戸別収集の取扱い（王子地区：居住形態別）

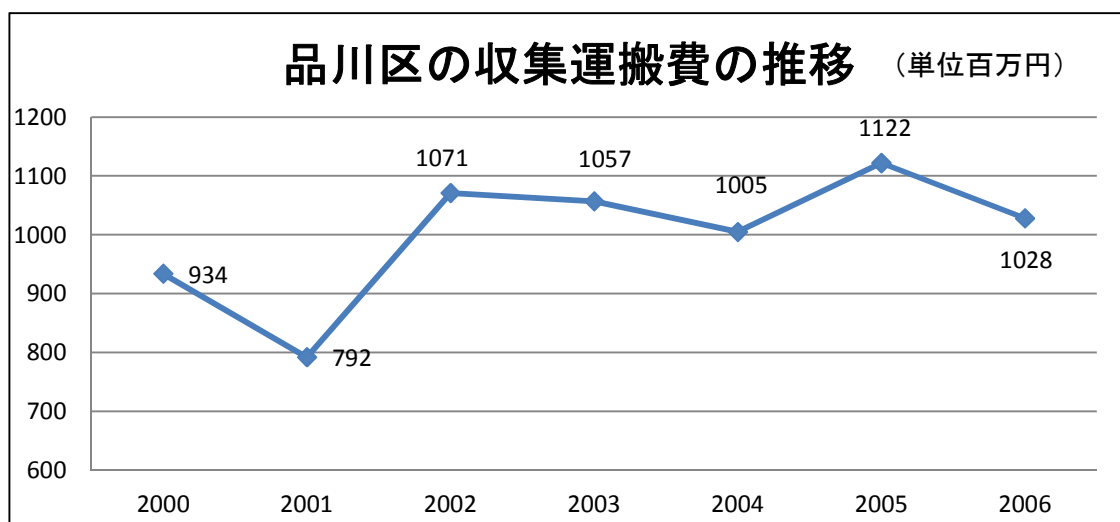
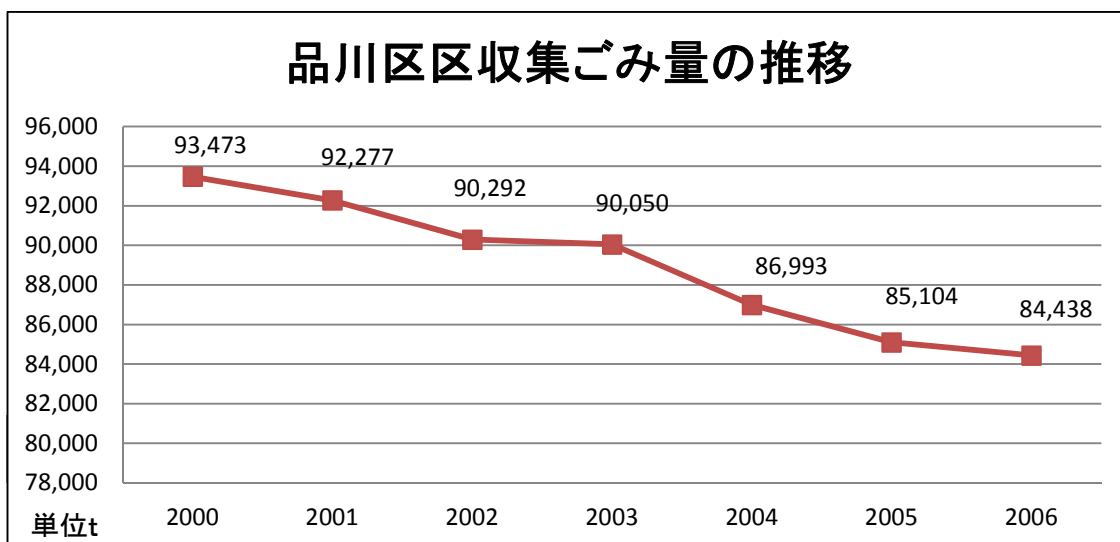


品川区の戸別収集実施前後のごみ量・収集費推移

| 年 度 | 2000 | 2001 (モデル収集 開始) | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 (戸別全域 拡大) | 2006 |
|-----------------|--------|-----------------------|--------|--------|--------|----------------------|--------|
| 区収集ごみ量 (t) | 93,473 | 92,277 | 90,292 | 90,050 | 86,993 | 85,104 | 84,438 |
| 可燃 (t) | 71,093 | 70,397 | 68,599 | 67,631 | 64,765 | 63,331 | 62,890 |
| 不燃 (t) | 19,776 | 19,787 | 19,927 | 20,447 | 20,247 | 19,717 | 19,446 |
| 粗大 (t) | 2,604 | 2,093 | 1,766 | 1,972 | 1,981 | 2,056 | 2,102 |
| 収集運搬費 (百万 円) | 934 | 792 | 1,071 | 1,057 | 1,005 | 1,122 | 1,028 |

注1) 2001年度における収集運搬費減少の主因は、ごみ減量に伴う雇上車5台の削減。

2) 2002 - 3年度における収集運搬費増加は、品川清掃工場建替工事に伴う運搬距離の延伸。



第 5 回北区資源循環推進審議会資料

検討テーマ 6 家庭ごみの有料化

■エコプラン2018（北区一般廃棄物処理基本計画）での記述

○個別計画

(1) 区民・事業者・行政の協働による3Rへの取り組みの推進

③行政によるごみの発生・排出抑制及び資源化のための施策

ウ 家庭ごみの有料化の検討

北区では、家庭ごみのさらなる削減を目指すため、家庭ごみの有料化について検討を進める。検討にあたり、清掃事業の効率化とサービスの向上を図ることを前提とし、①料金体系や料金水準、手数料徴収方法、手数料の用途と運用などの有料化の仕組みから、②住民や事業者との連携などに関する有料化の導入までの経緯や運用方法、③有料化導入後の評価と見直しなど、有料化導入自治体の事例調査などを実施した上で検討する。

(P36)

■資料

北区のごみ減量・リサイクルに関するアンケート調査から
全国市区町村の有料化実施状況
多摩地区のごみ実態調査から
多摩地区有料化導入5市のごみ排出量推移
家庭ごみの減量化に関する調査（23区）

北区のごみ減量・リサイクルに関するアンケート調査から

【有料指定ごみ袋の導入について】

問 14 北区での有料指定ごみ袋の導入について、どのように思いますか。(〇は1つ)

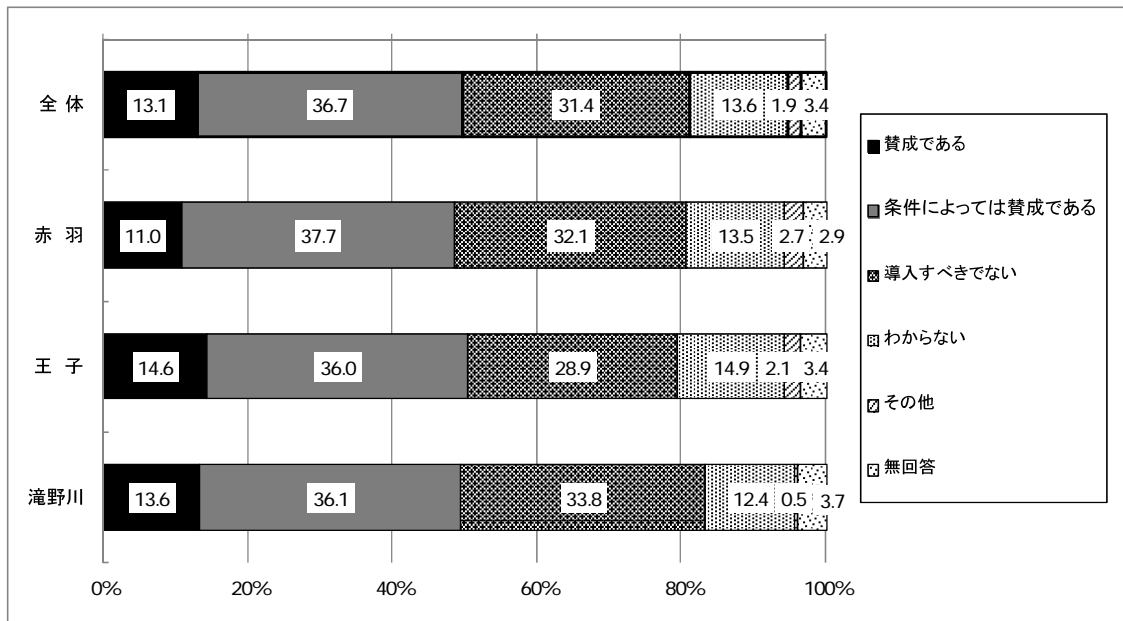
有料ごみ袋の導入は賛成派の方が約半数を占める。

有料指定ごみ袋の導入についてみると、「賛成である」(13.1%)と「条件によっては賛成である」(36.7%)をあわせた【導入に賛成である】(49.8%)が5割弱を占め高くなっている。

地区別による大きな差はみられない。

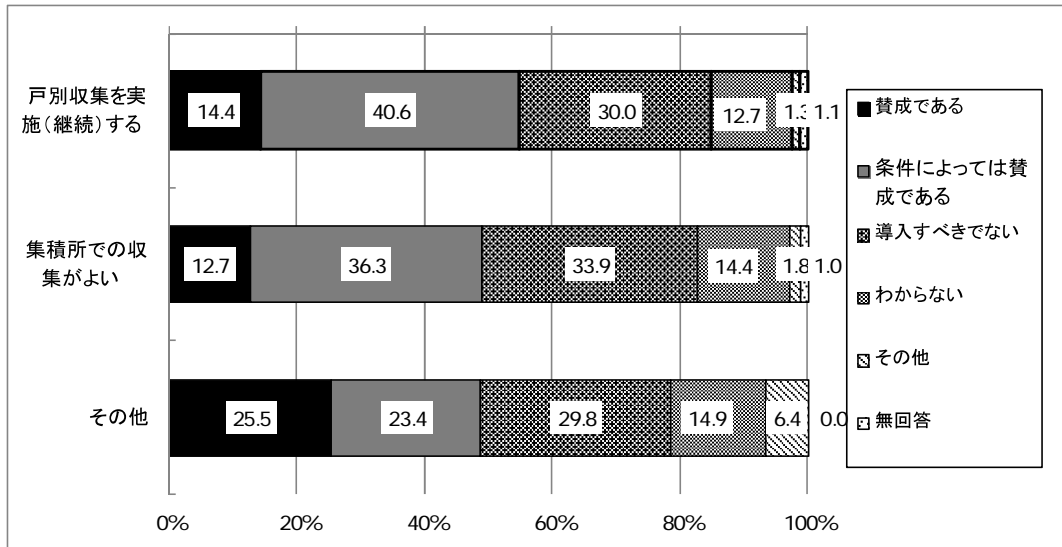
図表 有料指定ごみ袋の導入

| | 調査数 | 賛成である | ある条件によっては賛成である | 【導入に賛成である】 | 導入すべきでない | わからない | その他 | 無回答 |
|-----|-------|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 全体 | 1,604 | 210 13.1 | 588 36.7 | 798 49.8 | 504 31.4 | 218 13.6 | 30 1.9 | 54 3.4 |
| 赤羽 | 620 | 68 11.0 | 234 37.7 | 302 48.7 | 199 32.1 | 84 13.5 | 17 2.7 | 18 2.9 |
| 王子 | 522 | 76 14.6 | 188 36.0 | 264 50.6 | 151 28.9 | 78 14.9 | 11 2.1 | 18 3.4 |
| 滝野川 | 435 | 59 13.6 | 157 36.1 | 216 49.7 | 147 33.8 | 54 12.4 | 2 0.5 | 16 3.7 |



問 13「戸別収集の拡大」の意向別にみると、「賛成である」と「条件によっては賛成である」をあわせた【賛成である】は「戸別収集を実施する」(55.0%)で最も高く、5割台半ばを占めており、「集積所での収集がよい」(49.0%)を上回っている。

図表 有料指定ごみ袋の導入（戸別収集の拡大意向別）



問 15 有料の場合、どの程度の月額負担なら認められますか。(〇は1つ)

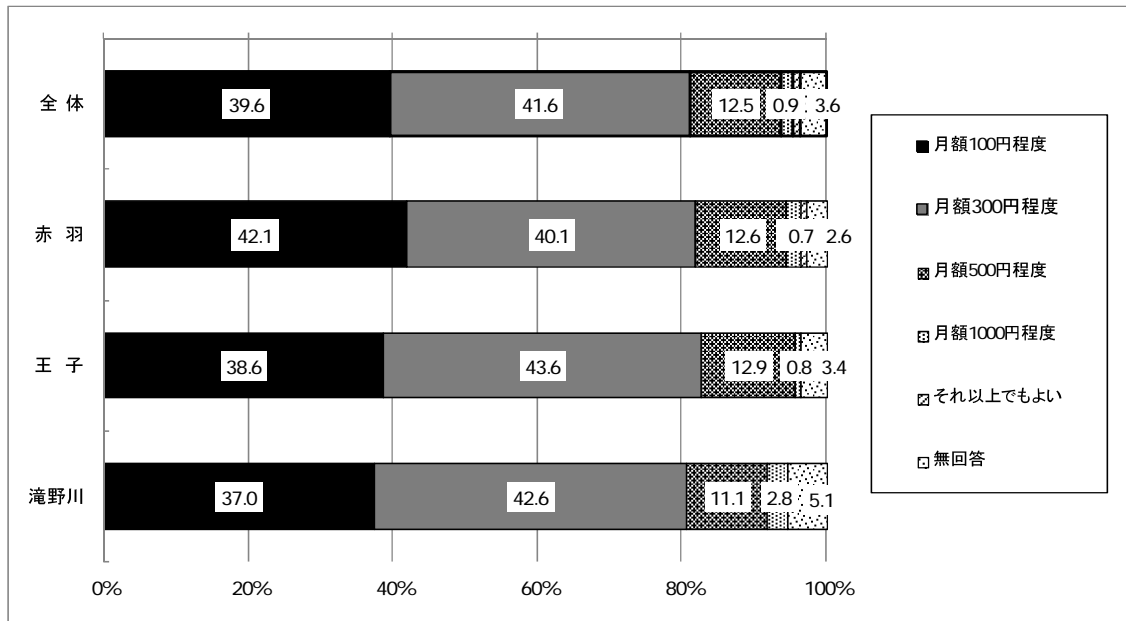
有料化の月額負担は、月額 300 円以内が望まれている。

有料の場合の月額負担についてみると、「月額 300 円程度」(41.6%) が 4 割強で最も高くなっている。次いで、「月額 100 円程度」(39.6%)、「月額 500 円程度」(12.5%) となっている。

地区別による大きな差はみられない。

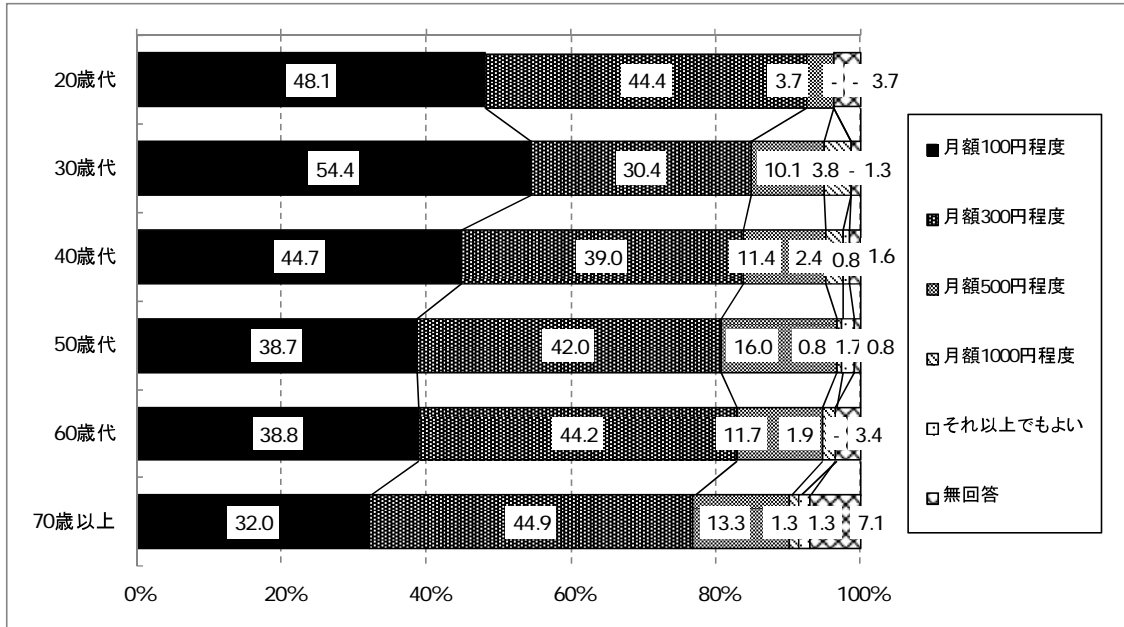
図表 有料の場合の月額負担

| | 調査数 | 月額 100 円程度 | 月額 300 円程度 | 月額 500 円程度 | 月額 1000 円程度 | それ 以上 でも よい | 無 回 答 |
|-----|-----|------------------|------------------|------------------|-------------------|----------------------|-------------|
| 全 体 | 798 | 316 | 332 | 100 | 14 | 7 | 29 |
| | | 39.6 | 41.6 | 12.5 | 1.8 | 0.9 | 3.6 |
| 赤 羽 | 302 | 127 | 121 | 38 | 6 | 2 | 8 |
| | | 42.1 | 40.1 | 12.6 | 2.0 | 0.7 | 2.6 |
| 王 子 | 264 | 102 | 115 | 34 | 2 | 2 | 9 |
| | | 38.6 | 43.6 | 12.9 | 0.8 | 0.8 | 3.4 |
| 滝野川 | 216 | 80 | 92 | 24 | 6 | 3 | 11 |
| | | 37.0 | 42.6 | 11.1 | 2.8 | 1.4 | 5.1 |



年代別でみると、「月額100円程度」は「30歳代」(54.4%)で最も高く、20歳から40歳代の比較的若い年代での割合が高くなっている。

図 有料の場合の月額負担（年代別）



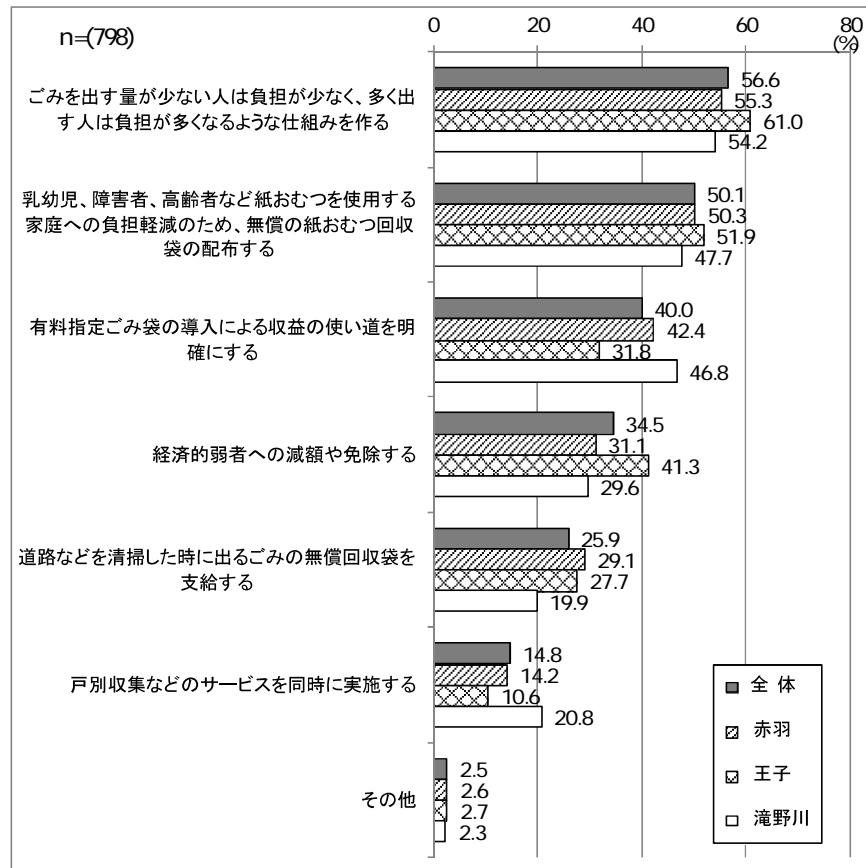
問 16 この有料指定ごみ袋制度を北区で導入するとしたら、特に優先して配慮してほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

有料化導入には「費用負担の仕組み作り」や「おむつ回収袋の配布」が求められている。

有料指定ごみ袋制度を北区で導入する際に、特に優先して配慮してほしいことについてみると、「ごみを出す量が少ない人は負担が少なく、多く出す人は負担が多くなるような仕組みを作る」(56.6%)が5割半ばを超え最も高くなっている。次いで、「乳幼児、障害者、高齢者など紙おむつを使用する家庭への負担軽減のため、無償の紙おむつ回収袋の配布する」(50.1%)、「有料指定ごみ袋の導入による収益の使い道を明確にする」(40.0%)となっている。

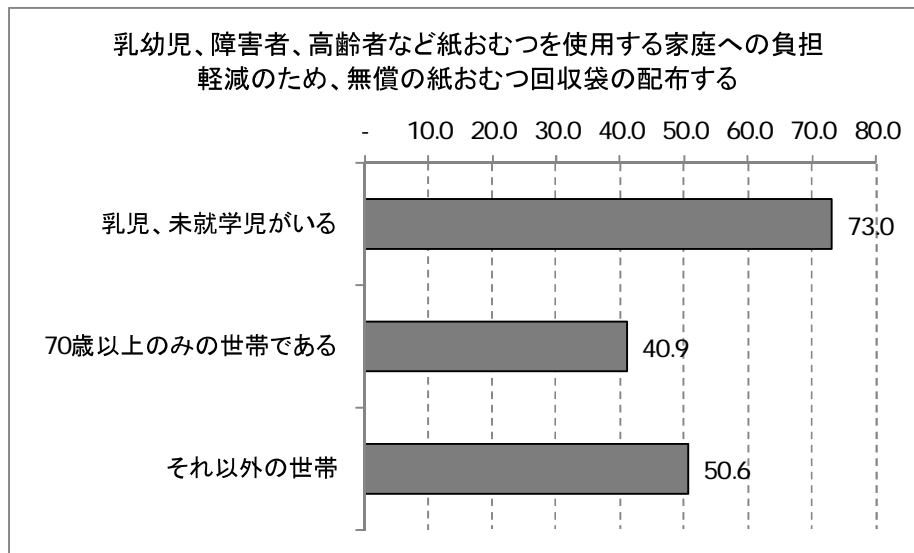
図表 有料指定ごみ袋制度を導入の際、特に優先してほしいこと

| | 調査数 | うすはご な人負み 仕は担を 組負が出 み担少す をがな量 作多く、少 なく多 なるく いよ 出人 | 除経 す済 る的 弱者 への 減額 や免 | 袋め家な乳 の、庭ど幼 配無へ紙児 布償のおむ障 すの負む害 る紙担つ者 お軽を者、 む減使高 つの用高 回たす齡 収る者 | を戸 同別 時収 に集 実な 施ど すの サー ビス | によ有 する料 収指 益定 のご 使み い袋 道の を導 明入 確に | 支出 給る すご のみ のを 無清 償掃 回し 収た 袋時 に | そ の 他 |
|-----|-----|---|--|---|--|--|---|-------------|
| 全 体 | 798 | 452 56.6 | 275 34.5 | 400 50.1 | 118 14.8 | 319 40.0 | 207 25.9 | 20 2.5 |
| 赤 羽 | 302 | 167 55.3 | 94 31.1 | 152 50.3 | 43 14.2 | 128 42.4 | 88 29.1 | 8 2.6 |
| 王 子 | 264 | 161 61.0 | 109 41.3 | 137 51.9 | 28 10.6 | 84 31.8 | 73 27.7 | 7 2.7 |
| 滝野川 | 216 | 117 54.2 | 64 29.6 | 103 47.7 | 45 20.8 | 101 46.8 | 43 19.9 | 5 2.3 |



家族構成別でみると、「乳幼児、障害者、高齢者など紙おむつを使用する家庭への負担軽減のため、無償の紙おむつ回収袋の配布する」は「乳児、未就学児がいる」(73.0%)で7割台半ば近くを占め、最も高くなっている。

図表 有料指定ごみ袋制度を導入の際、特に優先してほしいこと (家族構成別)



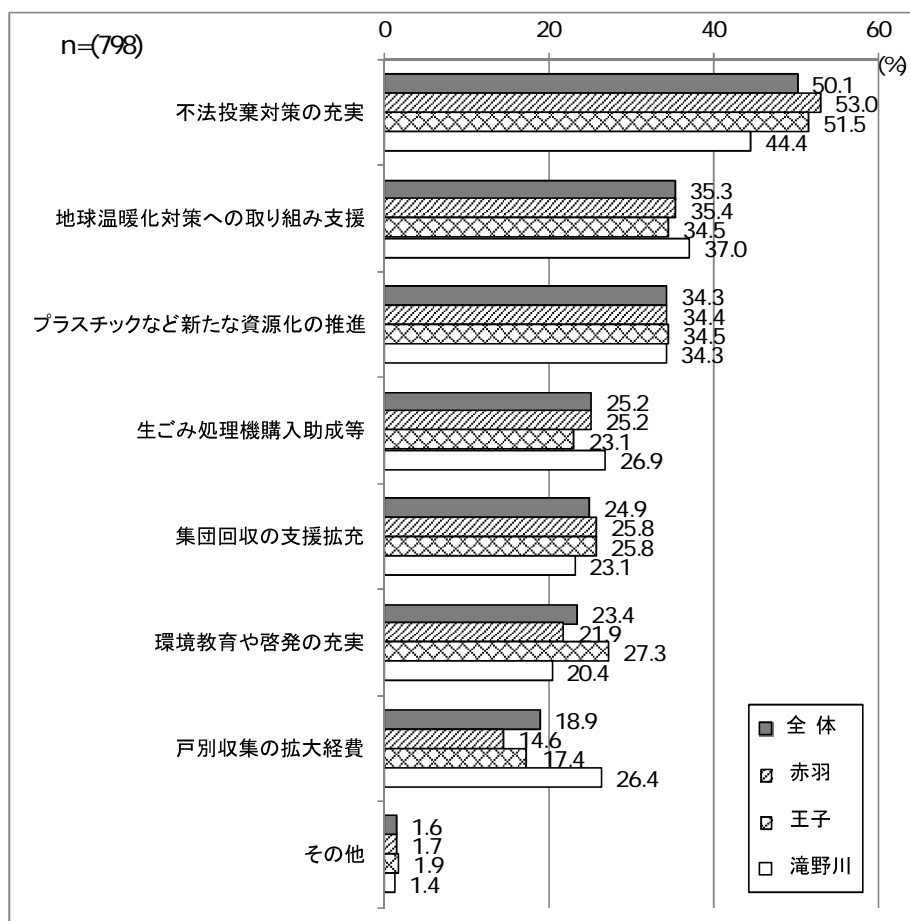
問 17 有料指定ごみ袋の導入で収益が出た場合は、何に使うと良いと思いますか。(〇は特に良いと思うもの3つまで)

有料ごみ袋の収益の用途は、「不法投棄対策の充実」が求められている。

有料指定ごみ袋の導入で収益が出た場合の用途についてみると、「不法投棄対策の充実」(50.1%)が約5割を占め最も高くなっている。次いで、「地球温暖化対策への取り組み支援」(35.3%)、「プラスチックなど新たな資源化の推進」(34.3%)となっている。

図表 有料指定ごみ袋の収益の用途

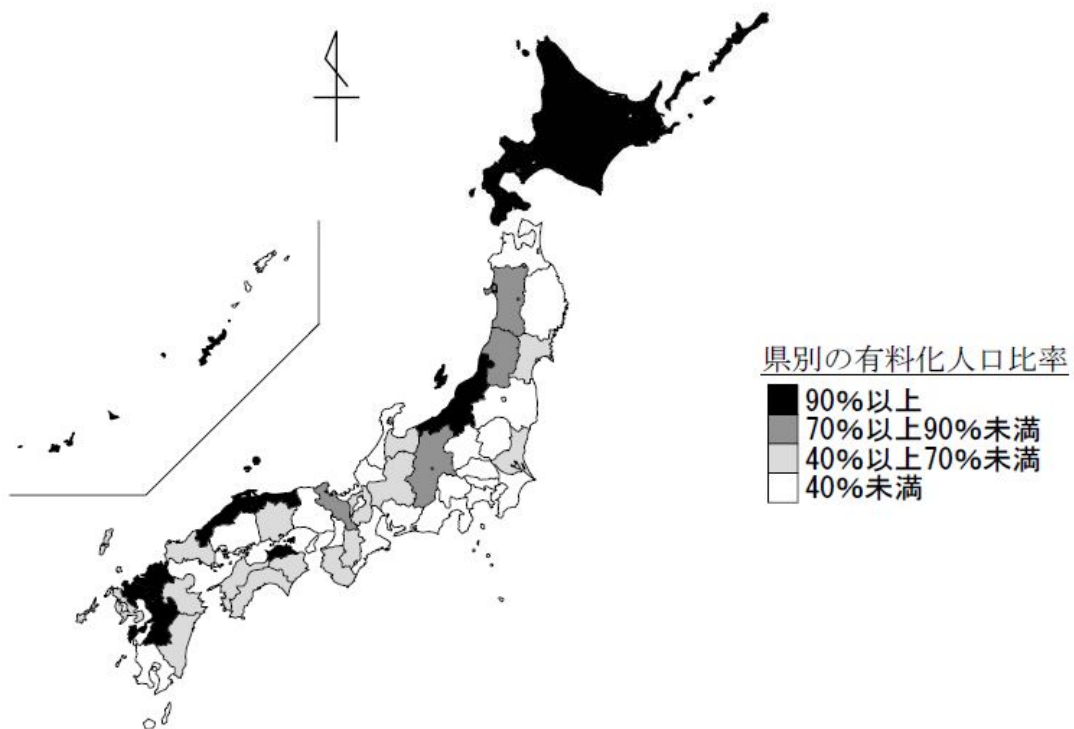
| | 調査数 | 不法投棄対策の充実 | 環境教育や啓発の充実 | 戸別収集の拡大経費 | 地球温暖化対策への取り組み支援 | 集団回収の支援拡充 | 生ごみ処理機購入助成等 | プラスチックなど新たな資源化の推進 | その他 |
|-----|-----|-------------|-------------|-------------|-----------------|-------------|-------------|-------------------|-----------|
| 全体 | 798 | 400 50.1 | 187 23.4 | 151 18.9 | 282 35.3 | 199 24.9 | 201 25.2 | 274 34.3 | 13 1.6 |
| 赤羽 | 302 | 160 53.0 | 66 21.9 | 44 14.6 | 107 35.4 | 78 25.8 | 76 25.2 | 104 34.4 | 5 1.7 |
| 王子 | 264 | 136 51.5 | 72 27.3 | 46 17.4 | 91 34.5 | 68 25.8 | 61 23.1 | 91 34.5 | 5 1.9 |
| 滝野川 | 216 | 96 44.4 | 44 20.4 | 57 26.4 | 80 37.0 | 50 23.1 | 58 26.9 | 74 34.3 | 3 1.4 |



全国市区町村の有料化の実施状況(2013年4月現在)

| | 総数 | 有料化実施 | 有料化実施率 |
|------|------|-------|--------|
| 市区 | 812 | 442 | 54.4% |
| 町 | 746 | 512 | 68.6% |
| 村 | 184 | 119 | 64.7% |
| 市区町村 | 1742 | 1073 | 61.6% |

都道府県別の有料化人口比率地図 (2013年4月現在)



50● 多摩地域ごみ実態調査（平成23年度統計）

表 32
家庭系ごみ
ごみ処理
手数料
(1)

| 市 町 村 名 | 家庭系ごみ | | | | | | | | | | | その他の手数料規程 | 収集方式* _b | |
|--------------|-----------------------|------------------|--------|----------|--------|----------------|----------------|--------|--|--|---|---|-----------------------------------|---|
| | 家庭系一般ごみの有料化について*a（収集） | | | | | | | | | | | | | |
| | 実施時期 | 袋方式・内容 | | | | | その他の方式・内容 | | | | | | | |
| 5リットル | | 10リットル | 15リットル | 20リットル | 30リットル | 40リットル | 45リットル | | | | | | | |
| 1 八 王 子 市 | H16. 10. 1 | 9円/1枚 | 18円/1枚 | | 37円/1枚 | | 75円/1枚 | | | | | 一日平均10kg以上又は臨時排出時 30円/1kg：納付書・現場徴収 | 戸別収集 | 八 |
| 2 立 川 市 | 未導入 | | | | | | | | | | | 臨時に100kg以上排出時 15円/1kg：納付書 | ステーション | 立 |
| 3 武 蔵 野 市 | H16. 10. 1 | 10円/1枚 | 20円/1枚 | | 40円/1枚 | | 80円/1枚 | | | | | | 戸別収集 | 武 |
| 4 三 鷹 市 | H21. 10. 1 | 9円/1枚 | 18円/1枚 | | 37円/1枚 | | 75円/1枚 | | | | | 収集1回に付100kg以上の臨時排出時 35円/1kg：納付書・シール | 戸別収集 | 三 |
| 5 青 梅 市 | H10. 10. 1 | 7円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | H22. 10月手数料改定。不燃5.8円/1枚、10.02円/1枚、20.024円/1枚、40.048円/1枚、容器包装プラスチック10.07円/1枚、20.05円/1枚、40.080円/1枚 | 臨時排出時 40円/1kg：納付書 | 戸別収集 | 青 | |
| 6 府 中 市 | H22. 2. 2 | 10円/1枚 | 20円/1枚 | | 40円/1枚 | | 80円/1枚 | | | 容器包装プラスチックは、5.8円/1枚、10.040円/1枚、20.020円/1枚、40.040円/1枚 | 規定無し | 戸別収集 | 府 | |
| 7 昭 島 市 | H14. 4. 1 | 7円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | | | 臨時排出時 40円/1kg：納付書 | 戸別収集・ステーション | 昭 |
| 8 調 布 市 | H16. 4. 1 | 8.4円/1枚 | | 27.3円/1枚 | | 55.6円/1枚 | | 84円/1枚 | | | | 臨時排出時 49円/1kg：納付書 | 戸別収集 | 調 |
| 9 町 田 市 | H17. 10. 1 | 8円/1枚 | 16円/1枚 | | 32円/1枚 | | 64円/1枚 | | | H21. 8月より現在の手数料に改定 | | 規程なし | 戸別収集・ステーション | 町 |
| 10 小 金 井 市 | H17. 8. 1 | 10円/1枚 | 20円/1枚 | | 40円/1枚 | | 80円/1枚 | | | | | 規程無し | 戸別収集 | 金 |
| 11 小 平 市 | 未導入 | | | | | | | | | | | 一日平均10kg以上又は臨時に200kg以上 排出時 40円/1kg：納付書 | ステーション | 平 |
| 12 日 野 市 | H12. 10. 1 | 10円/1枚 | 20円/1枚 | | 40円/1枚 | | 80円/1枚 | | | | | | 戸別収集 | 日 |
| 13 東 村 山 市 | H14. 10. 1 | 9円/1枚 | 18円/1枚 | | 36円/1枚 | | 72円/1枚 | | | H19. 1月より容器包装プラスチックの分別収集を開始。5.8円/1枚、10.07.5円/1枚、20.015円/1枚、40.030円/1枚 | 規定無し | 戸別収集 | 東 | |
| 14 国 分 寺 市 | 未導入 | | | | | | | | | | | 臨時に100kgを超える排出時 40円/1kg：納付書 | 戸別収集 | 分 |
| 15 国 立 市 | 未導入 | | | | | | | | | | | 臨時排出時 40円/1kg：現場徴収 | ステーション | 国 |
| 16 福 生 市 | H14. 4. 1 | 7円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | | | 臨時排出時 30円/1kg：シール・現場徴収 | 戸別収集 | 福 |
| 17 狛 江 市 | H17. 10. 1 | 10円/1枚 | 20円/1枚 | | 40円/1枚 | | 80円/1枚 | | | | | 臨時及び多量に排出する占有者 33円/1kg：納付書 | 戸別収集 | 狛 |
| 18 東 大 和 市 | 未導入 | | | | | | | | | | | 1日平均10kg以上 40円/1kg | ステーション | 大 |
| 19 清 瀬 市 | H13. 6. 1 | 7円/1枚 | 10円/1枚 | | 20円/1枚 | | 40円/1枚 | | | | | 規程無し | ステーション | 清 |
| 20 東 久 留 米 市 | 未導入 | | | | | | | | | | | 1日平均5kg以上、又は一時100kg以上排出時 52円/1kg：納付書 | 戸別収集・ステーション(可燃・不燃) ダストボックス(可燃) | 久 |
| 21 武 蔵 村 山 市 | 未導入 | | | | | | | | | | | 臨時に200kgを超える時 40円/1kg | ステーション | 村 |
| 22 多 摩 市 | H20. 4. 1 | 7円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | プラスチックは20リットル 10円/1枚のみ | | 臨時排出時45円/1kg | 戸別収集・ステーション | 多 |
| 23 稲 城 市 | H16. 10. 1 | 8円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | | | | 戸別収集 | 稲 |
| 24 羽 村 市 | H14. 10. 1 | 7円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | | | 臨時排出時 200円/1袋：シール (40%の袋に入れ、シールを貼付) | 戸別収集 | 羽 |
| 25 あ き る 野 市 | H16. 4. 1 | 7円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | 45円/1枚 不燃のみ | 60円/1枚 可燃のみ | | | | | 臨時多量排出時 30円/1kg 又は2,000円/1㎡：シール | 戸別収集 | あ |
| 26 西 東 京 市 | H22. 10. 1 | 7.5円/1枚 可燃・不燃 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | 容器包装プラスチックは、10.05円/1枚、20.010円/1枚、40.020円/1枚 | | | 戸別収集 | 西 |
| 27 瑞 穂 町 | H16. 10. 1 | 7円/1枚 | 15円/1枚 | | 30円/1枚 | | 60円/1枚 | | | | | 臨時排出時 30円/1kg：納付書・現場徴収 | 戸別収集 | 瑞 |
| 28 日 の 出 町 | 未導入 | | | | | | | | | | | 臨時多量排出時 30円/1kg：納付書 又は2,000円/1㎡ | ステーション | 日 |
| 29 檜 原 村 | 未導入 | | | | | | | | | | | 臨時多量排出時 12,000円/2t車・1,000kg以下は半額：納付書 | ステーション | 檜 |
| 30 奥 多 摩 町 | S30. 7 | | | | | | | | | | 納付書方式：月額500円（平均100kg/月以下）、月平均100kgを超える場合100円/10kg | 臨時多量排出時 100円/10kg：納付書 | ステーション | 奥 |

*a: ここでいう有料化とは、臨時・多量排出の場合の課金ではなく、日常的に排出されるごみ（可燃・不燃）の収集に対して課金することをさします。

*b: 収集形式の対象は、可燃ごみと不燃ごみ

*: 手数料の徴収方法
・袋方式
料金を含んだ袋をあらかじめ購入してもらい、これに入れて排出してもらう方法。
・現場徴収
収集の現場において直接徴収する方法。

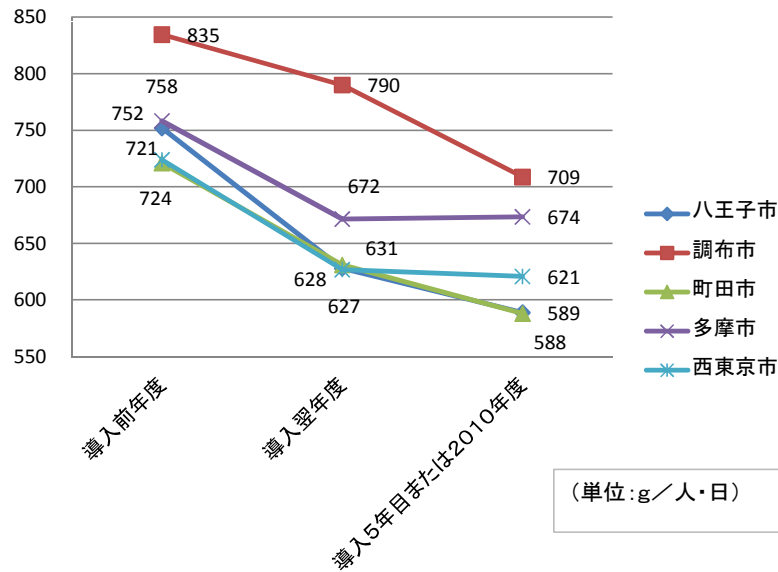
*: 手数料の内容等は、平成24年6月1日現在

多摩地域有料化導入市の家庭ごみ原単位・資源回収率（単位:g/人・日、%）

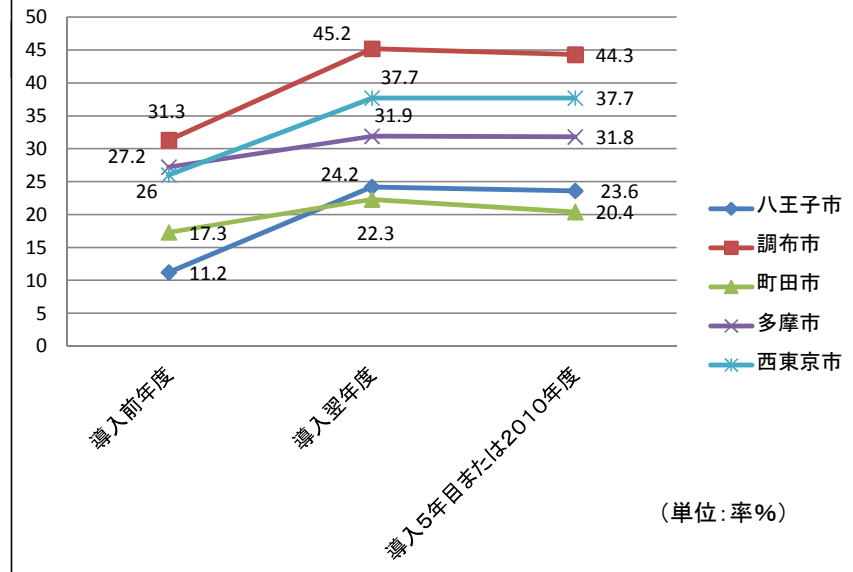
多摩地域ごみ実態調査(各年度版)

| 市名 | 大袋価格 (円) | 導入前年度 | | | | 導入翌年度 | | | | 導入5年目年度または2010年度 | | | | | | | | | |
|------|-------------|-------|-----|-------------|-----------|-------|--------|-------|-----------|------------------|--------|-------|-----------|--------|-----|-------|-------------|--------|-------|
| | | (A) | (B) | (A+B) | (B/(A+B)) | (A) | (B) | (A+B) | (B/(A+B)) | (A) | (B) | (A+B) | (B/(A+B)) | | | | | | |
| | | 可・不・粗 | 資源物 | 家庭ごみ 排出量 | 資源回収率 | 可・不・粗 | 増減 | 資源物 | 増減 | 家庭ごみ 排出量 | 増減 | 資源回収率 | 可・不・粗 | 増減 | 資源物 | 増減 | 家庭ごみ 排出量 | 増減 | 資源回収率 |
| 八王子市 | 75 | 668 | 84 | 752 | 11.2% | 476 | -28.7% | 152 | 81.0% | 628 | -16.5% | 24.2% | 450 | -32.6% | 139 | 65.5% | 589 | -21.7% | 23.6% |
| 調布市 | 84 | 574 | 261 | 835 | 31.3% | 433 | -24.5% | 357 | 36.8% | 790 | -5.3% | 45.2% | 395 | -31.2% | 314 | 20.4% | 709 | -15.1% | 44.3% |
| 町田市 | 80 | 596 | 125 | 721 | 17.3% | 490 | -17.8% | 141 | 12.8% | 631 | -12.5% | 22.3% | 468 | -21.5% | 120 | -4.0% | 588 | -18.4% | 20.4% |
| 多摩市 | 60 | 552 | 207 | 758 | 27.2% | 457 | -17.1% | 214 | 3.8% | 672 | -11.4% | 31.9% | 459 | -16.8% | 214 | 3.8% | 674 | -11.2% | 31.8% |
| 西東京市 | 80 | 536 | 189 | 724 | 26.0% | 391 | -27.1% | 236 | 25.4% | 627 | -13.4% | 37.7% | 387 | -27.7% | 234 | 24.0% | 621 | -14.2% | 37.7% |

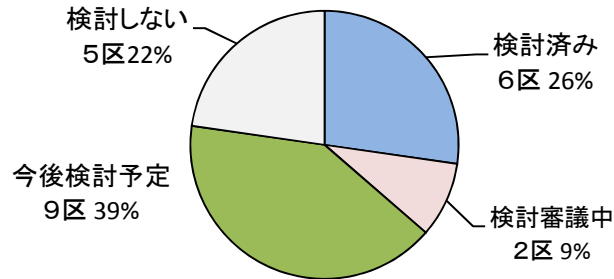
有料化導入に伴う家庭ごみ排出量(多摩地域5市)



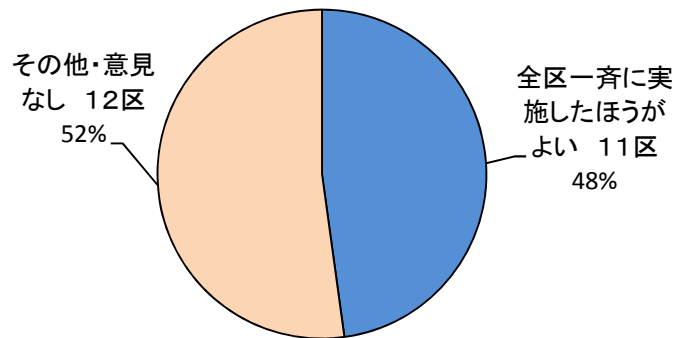
有料化導入に伴う資源回収率の推移(多摩地域5市)



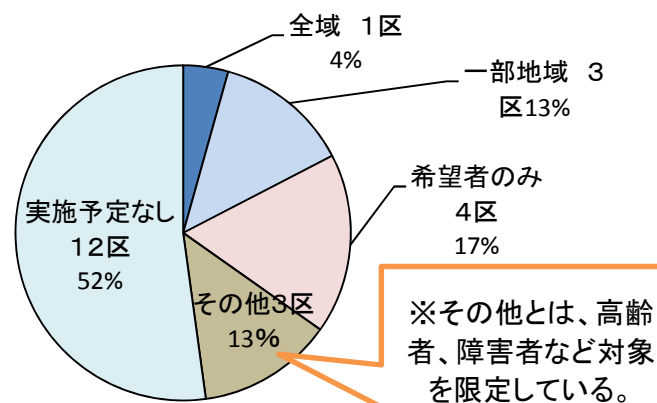
家庭ごみ有料化についての 検討状況(23区)



家庭ごみ有料化の実施方法の意見



戸別収集23区の状況と意向



1 滝野川地区における戸別収集モデル実施の実績

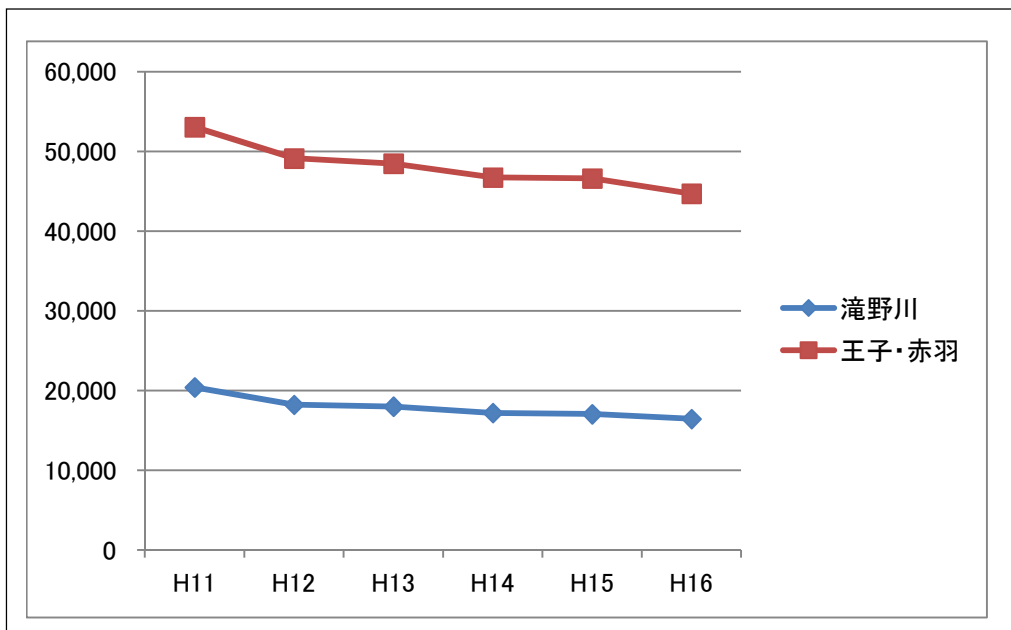
(1) ごみ量の推移について

※ 滝野川地区では、戸別収集を平成12年度から順次拡大し、14年2月から地域内全域実施

① 可燃ごみ

(単位:t)

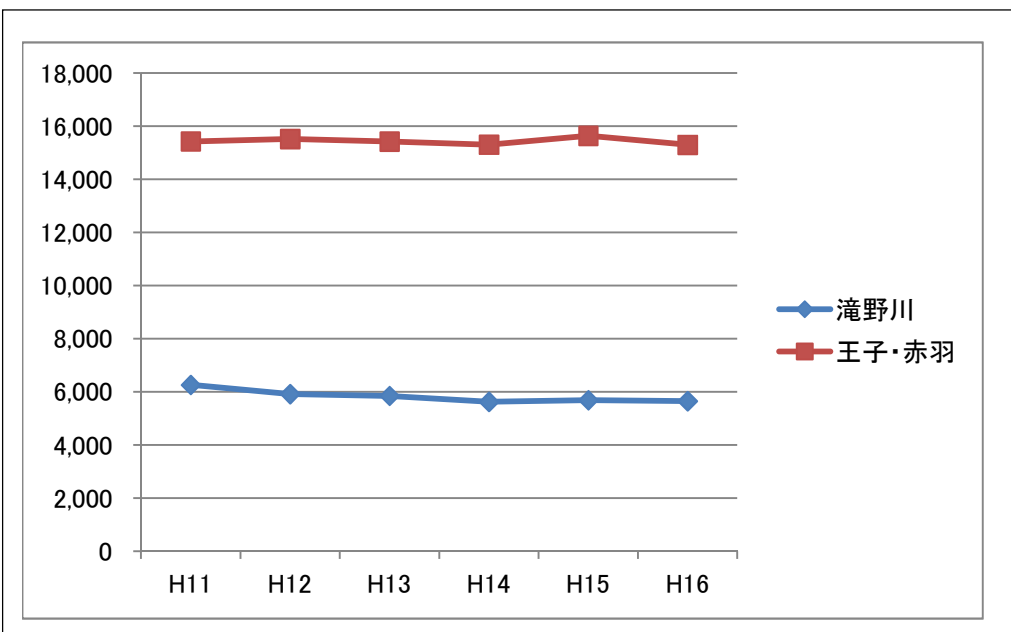
| | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 滝野川 | 20,411 | 18,224 | 17,990 | 17,196 | 17,047 | 16,444 |
| 王子・赤羽 | 53,051 | 49,134 | 48,482 | 46,741 | 46,615 | 44,701 |



② 不燃ごみ

(単位:t)

| | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 滝野川 | 6,257 | 5,915 | 5,845 | 5,620 | 5,682 | 5,647 |
| 王子・赤羽 | 15,425 | 15,518 | 15,419 | 15,302 | 15,635 | 15,294 |

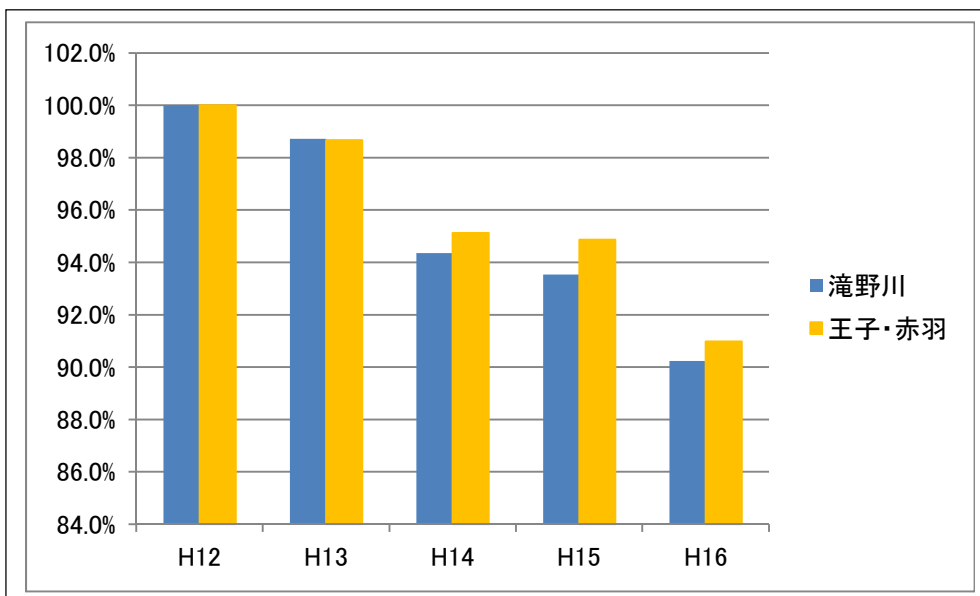


(2) 増減率の推移について

※ 平成12年度の数値を100とした場合の各年度の増減率

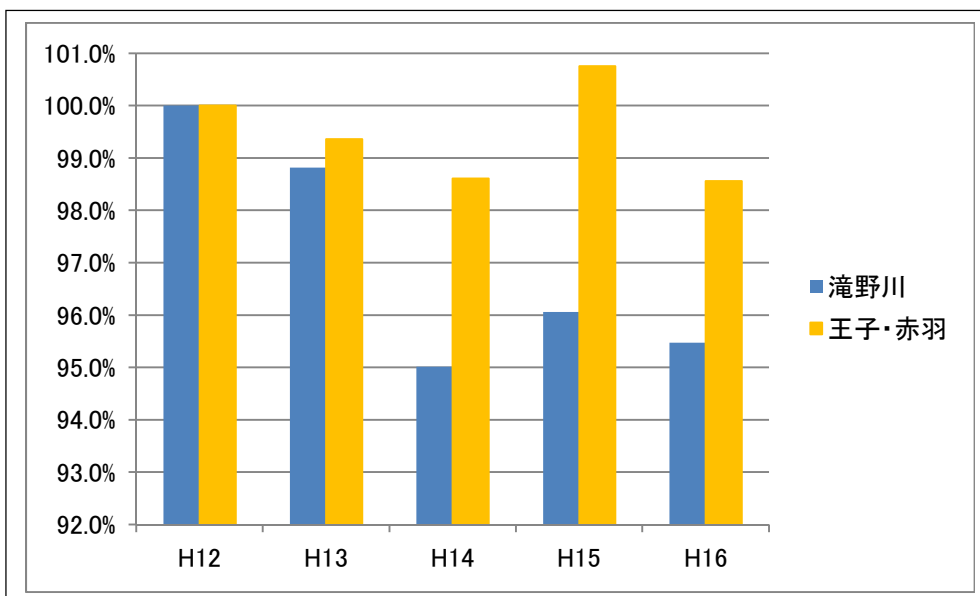
① 可燃ごみ

| | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 滝野川 | 100.0% | 98.7% | 94.4% | 93.5% | 90.2% |
| 王子・赤羽 | 100.0% | 98.7% | 95.1% | 94.9% | 91.0% |



② 不燃ごみ

| | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 滝野川 | 100.0% | 98.8% | 95.0% | 96.1% | 95.5% |
| 王子・赤羽 | 100.0% | 99.4% | 98.6% | 100.8% | 98.6% |



2 戸別収集の地域拡大実施に伴う王子・赤羽地区の収集箇所数の増加

| 平成 24 年度現在 | | 戸別収集実施後 | およその増減数 |
|---------------|-------|---------|---------|
| 集積所（集合住宅を含む。） | 7,278 | 34,800 | 25,800 |
| 戸別収集 | 1,690 | | |
| 訪問収集 | 536 | 400 | -140 |
| 合計 | 9,504 | 35,200 | 25,660 |

【参考】滝野川地区の平成 24 年度現在の収集箇所数

| | |
|------|--------|
| 集合住宅 | 3,376 |
| 戸別収集 | 13,781 |
| 訪問収集 | 67 |
| 合計 | 17,224 |

3 戸別収集の地域拡大実施に伴う経費負担の増加

※ 戸別収集により作業効率が低下することによる車両・人員の増加による。

| | 増加内容 | 金額 |
|----------|---|-------------|
| 雇い上げ車両経費 | 作業能率の低下に伴う増車 小型プレス車 5 台、小型特殊車 2 台、軽小型ダンプ車 3 台 | 120,000,000 |
| 作業員雇用経費 | 増車に伴う作業員の増加 17 名/日 小プ 2 名/台、小特 2 名/台、軽小ダ 1 名/台 | 80,000,000 |
| 合計 | | 200,000,000 |

1 北区清掃事務所における収集体制

(1) 平成25年度北区清掃事務所作業計画


| 種別 | 収集回数 | 収集地域 | 収集量 (t/日) | 稼働清掃車両 | | 作業員 | | 搬入先 (t/日) |
|--------------|------|-----------------------------|--------------|---------|-----|-----|-----|---|
| | | | | 車種 | 台数 | 人/台 | 計 | |
| 可燃 | 週2回 | 滝野川 ※狭小対策を含む。 | 56.0 | 小型プレス車 | 6 | 2 | 12 | 北清掃工場 192.7 板橋清掃工場 13.4 豊島清掃工場 7.5 |
| | | | | 小型特殊者 | 3 | 2 | 6 | |
| | | | | 軽小型ダンプ車 | 10 | 1 | 10 | |
| | | 王子・赤羽 ※狭小対策を含む。 (※注1) | 157.6 | 大型ダンプ車 | 1 | 3 | 3 | |
| | | | | 新大型特殊車 | 1 | 2 | 2 | |
| | | | | 新中型特殊車 | 1 | 2 | 2 | |
| 滝野川 | 2.9 | 王子・赤羽 (※注2) | 7.9 | 小型プレス車 | 15 | 2 | 28 | |
| | | | | 小型特殊車 | 4 | 2 | 8 | |
| | | | | 軽小型ダンプ車 | 4 | 1 | 4 | |
| 不燃 | 月2回 | 区内全域 (※注3) | 11.0 | 軽小型ダンプ車 | 3 | 1 | 3 | 不燃ごみ処理センター 0.7 堀船作業所 10.1 |
| | | | | 新中型特殊車 | (1) | (2) | (2) | |
| | | | | 小型プレス車 | (1) | (0) | (0) | |
| 粗大 (委託) | 事前申込 | 区内全域 (※注3) | 11.0 | 軽小型ダンプ車 | 7 | 1 | 7 | 粗大ごみ破碎処理施設 11.0 |
| | | | | 大型プレス車 | 1 | 0 | 0 | |
| | | | | 小型ダンプ者 | 4 | 2 | 8 | |
| 資源 (委託) | 週1回 | 滝野川 | 12.5 | 普通貨物車 | 2 | 2 | 4 | 資源業者ヤード 34.0 |
| | | | | 軽小型貨物車 | 2 | 1 | 2 | |
| | | 王子・赤羽 | 21.5 | 普通貨物車 | 4 | 2 | 8 | |
| | | | | 軽小型貨物車 | 2 | 1 | 2 | |
| 合計 ※粗大を除く | | 滝野川 | 71.4 | | 26 | | 37 | |
| | | 王子・赤羽 | 187.0 | | 39 | | 64 | |

(注1) 小型プレス車15台のうち、1台は変則ダブル・積替え作業用のため作業員は0名。

(注2) 不燃ごみ収集車両のうち、() 書きは可燃ごみと併用している車両台数。

(注3) 粗大の大型プレス車は、清掃事務所から中防までの中継車両のため作業員は0名。

(2) 車両と用途

| 車種 | 用途 |
|---|--|
|  小型プレス車 | 23区の清掃事業で最も多く稼働している車両。荷箱に圧縮装置が取り付けられており、ごみを押し詰めながら積み込む。回転板式の車両に比べ、かさばったごみも効率よく収集することができる。主に可燃ごみの収集に使用している。 |

| 車 種 | 用 途 |
|---|--|
|  <p>小型特殊車</p> | <p>圧縮機能はないが、小型プレス車に比べて車両幅を抑え、荷箱も小さいため、小型プレス車が進入できない狭小な路地での作業に適している。主に可燃ごみの収集に使用。</p> |
|  <p>軽小型ダンプ車</p> | <p>小型特殊車さえ進入できない極めて狭小な路地での作業に使用する。ダンプ機能を有していることから、収集したごみを清掃工場等に直接搬入することができる。主に可燃ごみ・不燃ごみの収集に使用。</p> |
|  <p>大型ダンプ車</p> | <p>UR住宅等一部の集合住宅に設置されているごみホッパー（ごみの貯留槽）からの収集に使用する。ホッパー排出口の下に荷箱を着けて、ごみを落下させて収集する。可燃ごみの収集に使用。</p> |
|  <p>新大型特殊車</p> | <p>100世帯以上の大規模な集合住宅ではコンテナによりごみを排出してもらっている。車両後部にはコンテナを持ち上げ反転させる装置が付いており、コンテナをセットすれば自動で逆さにし、ごみを投入することができる。可燃ごみ・不燃ごみの収集に使用。</p> |
|  <p>新中型特殊車</p> | <p>新大型特殊車と同様にコンテナ傾倒装置が付いており、新大型特殊車が進入できない集合住宅のコンテナ集積所での作業に使用する。可燃ごみ・不燃ごみを収集に使用。</p> |
|  <p>大型プレス車</p> | <p>強力な圧縮装置を取り付けた大型車で、大量のごみを積み込むことができる。小型ダンプ車で清掃事務所に集められた粗大ごみを積み替えて、中央防波堤内側にある「粗大ごみ破碎処理施設」まで運搬する。粗大ごみの中継車両として使用。</p> |
|  <p>小型ダンプ車</p> | <p>不燃ごみ収集に使用する区もあるが、北区では粗大ごみの収集のみに使用。収集した粗大ごみは、清掃事務所敷地内の粗大中継所でダンプアップして降ろし、大型プレス車に積み替えて「粗大ごみ破碎処理施設」まで運搬する。</p> |
|  <p>普通貨物車</p> | <p>圧縮装置やダンプ機能等のない普通の貨物車、荷箱のあおり部分は高さが二段階で変わり、効率的な積み込み作業を可能にしている。資源（古紙）回収に使用。</p> |
|  <p>軽小型貨物車</p> | <p>軽小型ダンプ車と同様に、極めて狭小な路地での作業に使用するが、ダンプ機能を有していないことから、清掃工場等への搬入には適さない。粗大ごみの収集や資源（古紙）回収の狭小路地対策に使用。</p> |

2 滝野川地区における狭小路地での戸別収集実施状況

(1) 小型特殊車による収集状況

① 車両が進入できない路地は、収集職員が路地奥からごみを引き出す。



② 車両が通り抜けられない路地は、ぎりぎりまで進入してごみを引き出す。



③ 集めてきたごみを積み込む。



(2) 軽小型ダンプ車による収集状況

① 軽車両さえ進入できない路地は、手作りの台車と容器を使用してごみを引き出す。



② 状況により、運転手・収集職員が協力してごみを集める。



③ 集めてきたごみを積み込む。

